

# Control RNA, Human RNase P

Code No. 311-09321

保存:  
-80°C

## 製品説明:

本品は、ヒト RNase P 遺伝子の一部配列を含む合成 RNA で、米国疾病予防管理センター (CDC) が公開しているヒト RNase P 遺伝子を標的配列とする検出系の陽性コントロール RNA として使用できます。RNase P 遺伝子の検出は、ヒト試料からの核酸抽出に対する品質や操作性を評価する内在性コントロールとして選択されています。本品は、内在性コントロールの陽性コントロールとして使用できます。

## 製品内容:

構成成分	容量	備考
Control RNA, Human RNase P (100,000 copies/ $\mu$ L) <sup>*1)</sup>	150 $\mu$ L $\times$ 1	陽性 コントロール
Water, Nuclease free <sup>*2)</sup>	1 mL $\times$ 1	陰性 コントロール

\*1) 陽性コントロール RNA の溶媒組成は、10 倍希釈した RTmate (Code No. 315-05941) です。RTmate の配列情報は、ニッポン・ジーン のホームページ (<https://www.nippongene.com/siyaku/>) から入手可能です。

\*2) 構成成分の Water, Nuclease free は陰性コントロール (No Template Control) として使用してください。陽性コントロール希釈用の水は別途ご用意ください。

## 使用上の注意:

- ・ 本品を融解した後、ボルテックスミキサーでしっかり混合しスピンドアウンしてから使用してください。
- ・ 本品の凍結融解は、15 回以内としてください。
- ・ 操作は全て氷上で実施してください。
- ・ コンタミネーションの原因となるため、本製品で実験台や器具を汚染しないように注意してください。
- ・ 増幅産物による汚染を防ぐため、PCR 後の反応チューブの蓋は開けないでください。また、蒸気により増幅産物が拡散するおそれがあるため、オートクレーブ処理等を行わないでください。
- ・ 本品が付着したりこぼれたりした場合は、1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液を含ませたウェスで汚染箇所を拭き取ってください。
- ・ 本品は、お客様のお手元に到着後 1 年以内にご使用ください。
- ・ **本品は体外診断用医薬品あるいは医療機器として承認・認証等を受けておりません。治療診断目的での使用はできません。**

## 関連製品:

品名	Code No.	包装単位
RTmate	311-05943	25 $\mu$ l
RTmate	315-05941	500 $\mu$ l
Water, Nuclease free	314-09291	1 ml $\times$ 100

**使用例:**

- (1) 本品を室温で融解した後、ボルテックスミキサーで数秒間混合し、スピンドアウンする。
- (2) 別途用意した希釈溶媒(1/10 濃度 RTmate<sup>\*)</sup>またはヌクレアーゼフリー水など) 90  $\mu$ L に本品 10  $\mu$ L を添加し混和する(10 倍希釈溶液となる)。次に 10 倍希釈した陽性コントロール RNA 溶液 10  $\mu$ L を希釈溶媒 90  $\mu$ L に添加し、100 倍希釈陽性コントロール RNA 溶液(1,000 copies/ $\mu$ L)を調製する。  
**【注意】**  
陽性コントロール RNA は用時希釈して使用してください。一度希釈したコントロール RNA 溶液は保管および再利用をしないでください。
- (3) 鑄型 RNA 以外のプレミックス(RT-PCR 混合液)を必要反応数分まとめて調製し、20  $\mu$ L ずつ小分けする。
- (4) 最初に陰性コントロールとして製品構成品の Water, Nuclease free、次に検体から抽出した RNA サンプル、最後に陽性コントロールとして(2)で調製した 100 倍希釈陽性コントロール RNA 溶液(1,000 copies/ $\mu$ L)の順番で鑄型溶液を 5  $\mu$ L ずつ(3)で調製したプレミックス 20  $\mu$ L に添加し、RT-PCR を行う(25  $\mu$ L 反応系)。

\*3) 1/10 濃度 RTmate は、水で 10 倍希釈した RTmate (Code No. 315-05941)です。

希釈溶媒として、ヌクレアーゼフリー水よりも 1/10 濃度 RTmate を使用した方が、希薄なコントロール RNA でも安定して調製することができます。

**備考:**

本品は、ヒト RNase P 遺伝子の一部配列を含みます (Accession Number: NM\_001104546 Region: 1..120)。配列情報はニッポンジーンのホームページ (<https://www.nippongene.com/siyaku/>) から入手可能です。

**参考文献:**

- 1) アメリカ疾病予防管理センター(CDC)「2019-Novel Coronavirus (2019-nCov) Real-time-RT-PCR Panel primers and Probes」

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないでください。